

平成 29 年度
鹿児島大学陸上競技部 部報



鹿児島大学陸上競技部 ホームページ
<http://www4.synapse.ne.jp/kadairikubu/>

目次

- OBG 会 挨拶

- 監督挨拶

- コーチ挨拶

- 幹部挨拶

- 平成 29 年度陸上部 OBG 会 決算報告

- 主な成績

- 平成 29 年度学生部員名簿

- 編集後記

部報によせて

副会長 麻生 貴宣

OBG会員の皆様、昨年に引き続き部報を書く羽目になりました昭和58年入学の麻生です。今年も中学3年生の担任をしながら、県陸協の事業案内を作成するという大変忙しい3学期でしたが、何とか終わることができました。競技部長も相変わらず努めておりますので、競技会やタイムテーブルについてお気づきの事がありましたら遠慮無く声を掛けてください。

さて、今回の「部報によせて」も新しい方に原稿をお願いするところだったのですが、結局3回目の原稿を書くことになってしまいました。そこで昨年に引き続き、息子の試合を追いかけながら県外で見聞きしたことを書こうと思います。

鹿児島南高校3年の彼は、3月に**全国選抜合宿**で広島に行きました。引率が必要ということで私が付いて行きました。広島のエディオン陸上競技場はスタンドも大きく、さすがJ1のホームグラウンドという感じでした。15人程の参加者がいましたが、インターハイに出場するであろう選手も多く含まれ、練習よりも「交流」が良い収穫になりました。5月の連休には、**熊本県八代市の記録会**に行きました。海に近い競技場で2m前後の風がずっと吹いていて、そのおかげで県記録の4m90が出ました。続く**インターハイ**は、山形県天童市で行われました。メイン・サブ共に競技場の大きさはごく普通でしたが、駐車場の広いことにびっくりしました。大会中でも半分程度しか停まっておらず、そのキャパの大きさは他県では見られないものでした。成績は4m90を3回目に跳び、5位入賞しました。NHKの放送でも流れたようで、親戚からやたら電話が来ました。

10月は**愛媛国体**で松山市に行きました。松山の競技場は新しかったのですが、観音寺一高の詫間先生からは「日本で一番記録が出ない競技場や」と言われました。その言葉通り弱い風が常に回っていて、記録の出にくいフィールドでした。結果は4m70を一発で跳べたので何とか5位入賞できました。一方、愛媛県の選手は振るわず、選手強化の難しさを改めて実感した大会でした。その後11月に名古屋で**日本ジュニア**が行われました。今年からU-18とU-20になり、現地に行くまでU-18のつもりで行ったら大学生と同じ組で、その時に初めてU-20のカテゴリーの中途半端さに気づきました。結果は、雨模様だったこともあり、記録無しに終わりがっかりでした。2月は**香川県の室内記録会**に行きました。高松市に新しく建設された屋島レクザムフィールドで行われました。バックスタンド下に100mの直線路が5レーン、棒高跳のピットが2面、電動のアップライトも設置されていて、建設費が70億！ということでした。(因みに高松市営です。)ほぼ毎週棒高跳の記録会も行われており、香川の強化がますます進んで行くなあと感じました。室内の助走路は比較的固く、若干スピードが乗りにくいピットかなと感じました。(南高校のピットに感じが似ているそうです。)

鹿児島国体を控え鴨池も現在改修中です。今年1年は駐車場が使えなかったり、スタンドが狭かったりと色々とお迷惑をお掛けしますが皆様のご協力をお願いします。

最後にOB会へのご意見やご要望などありましたら、いつでも事務局まで電話やメールでお知らせください。今年度の皆様の活躍を祈っております。

地域での鹿児島大学陸上競技部の活躍

部長・監督 塗木 淳夫

新春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。OBGの皆様も多方面において活躍されていることと思いますが、平素の多大なる陸上部へのサポートを心から感謝申し上げます。少しでも鹿児島大学陸上競技部の活躍によって、皆様に恩返しができるように取り組んでいますが、まだまだ精進しなければならないなど選手並びにスタッフ一同感じているところです。また、2020年に鹿児島国体が開催されますが、鹿児島大学からも1人でも鹿児島国体に出場できればと思っています。

今年度の陸上部の結果を振り返りますと、三段跳びの田坂裕輝君の活躍が素晴らしものでした。日本学生個人別選手権での入賞もさることながら、「第4回 日中韓3ヶ国交流陸上競技大会」に日本代表として出場し、自己ベスト記録(15m80, +1.4)をマークして、男子三段跳で4位入賞を果たしています。本人の活躍は、鹿児島大学でのホームページや新聞報道での紹介、学長表彰授与(現在、候補者)などで多くの皆さまも知る所だと思います。田坂君は、鹿児島大学進学のきっかけを以下のように話してくれています。“第一に、これまで自分を育ててくれた地元への恩返しと貢献をしたいという強い願いがありました。地方創生の必要性が高まる中で、地域に根ざし、地域活性化のためのカリキュラムを導入している鹿児島大学の教育に対して強い魅力を感じました。また、文武両道を極めるため、穏やかな安定した教育環境のもとで学ぶことができる大学は、地元鹿児島大学より他にないと感じたからです”。鹿児島大学は、「大学の地域貢献度ランキング2017」では、日本第3位になりました(2014年の45位からの大飛躍)。鹿児島大学の地域貢献度が高く評価されていることが分かります。田坂君の活躍をきっかけに、鹿児島大学陸上競技部も地域貢献(陸上競技の活躍や競技普及など)にも更に取り組んでいきたいと思っています。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年の反省と今年の展望

短距離ブロックコーチ 内田 大介

昨年は田坂くんに行き添って日本学生個人選手権(平塚)と日本学生選手権(福井)の全国学生の頂点を決める2大会を観戦させていただきました。平成26年の伊藤貴祥くんの時以来ですから、うちの学生が参加するのは3年ぶりでした。桐生選手、多田選手らの活躍の余波で、学生陸上界に対する注目が集まる最中の大会で、まさにここを目指して日々努力を重ねているんだな、とあたためて原点に返った思いがしました。そんな中、田坂くんは個人選手権では自己ベストで6位入賞という素晴らしい成績を残し、日本代表の切符を手に入れるにいたりました。本当にたいしたものです。

短距離の方に話を移しますと、九州インカレでは個人入賞は400mで甲斐達気くんが5位、

100mHで吉元佑美香さんが7位というにとどまりました。リレーも男子は4継、マイルいずれも6位、女子はいずれも5位というところで、現状の力は出せたとはいうものの上位との差は甚だしいものがあります。4年生でチームの核となる上村凌くん、中村弘樹くんの怪我が大きなマイナス要因となりましたが、それを含めてチームの力が不足していたと言わざるを得ません。インカレで自己ベストを出せた者がほとんどいなかったのがそれを物語っています。

前々年には男子4継のメンバーが日本インカレ標準を目指して奮闘していたのですが、新チームになって以後はエース不在ということもあり、メンバーの選考、走順の組み方に苦慮する状況でした。リレーメンバー4名中3名が跳躍陣から選ばれる、ということもありました。今跳躍陣にスプリント能力が高い者が複数いるため、跳躍メンバーの力が不可欠と言えますが、バトン練習等の負担を考えるとやはり短短パートに奮起してもらいたいところです。

短長パートは3年生がいないため、2年生の勇島くんがパート長を務めており、人数も少ないです。800mの選手、短短の選手など常にチームの総力をもって戦わなければならない状態です。勇島くん、大津屋くんという2年生の2人が軸となり経験を積むことができた1年であったので、次年度の成長が楽しみです。

女子パートも3年生がいないため、1、2年生のチームになっています。リレーが組める組めないかの人数しかいない、というのはいつものことですが、各人高い能力を秘めているので、今後に期待です。

1人1人と個別に話をするとみな陸上競技に対してとてもしっかりした目標や意見を持っていると感心させられます。ただ、それを生活態度やアルバイトの方に話を向けるとどうでしょう。何も難しいことを要求しているわけではないのです。食事をしっかり摂る、睡眠時間を確保する、朝補強トレーニングする、練習開始前5分10分でも早く来て事前に入念にストレッチする、練習終了後少しの間居残ってクールダウンする、就寝前に練習日誌をつける等、心掛け次第でできるような些細なことをコツコツ積み重ねることです。今までこの鹿児島大学で強くなっている先輩方はこれらの基本的なことがきっちりできていた人たちばかりです。みなさんもきっとできます。

最後に一点、ドイツ人留学生のお二人の練習生に対する学生の皆さんの対応について、素晴らしいものがあると心温まる気持ちになります。コミュニケーション能力もですが、皆さんとても優しいですね。

今シーズンを振り返って

長距離ブロックコーチ 堀脇淳一

今シーズンの九州インカレでは10000m競歩において高橋宏敬（院1年）が優勝を目指してレースに臨んだものの、早い段階で警告が出されたため、歩形を意識して少しペースを抑えながらのレースになり4位という結果に終わりました。また、女子3000m障害では西佳苗（2年）が巧みなハードリングで、表彰台にあと一步の4位に入りました。長距離ブロックで20点を獲得することを目標に取り組んできたのですが、半分しか獲得できませんでした。得点の取りこぼしの原因としては、レースの進め方が拙いとか、故障からの回復が遅れたことなどが挙げられると思いますが、大半の選手は力不足だと思いました。

その他の大会では、西日本インカレの10000m競歩において高橋が6位入賞（記録44:57.30）の好成績を収めました。久しぶりに長距離ブロックから入賞者が出て大変喜ばしいことでした。また、鹿児島県選手権の1500mにおいて中山謙（2年）と西が女子3000m障害（出場一人ですが）で優勝を果たし、タイムにはやや不満が残るものの、来シーズンの九州インカレに向けて少し期待のできる結果を得ることができました。

九州学生駅伝は8位を目標に臨みましたが、昨年のチームと比較して練習の状況などを見ても厳しい結果になるだろうと思っていました。レースの序盤から出遅れて最終的には昨年と同じ10位でした。目標であった8位のチームとは約8分差あり、一区間あたり1分以上短縮しなければならぬ厳しい結果でした。また、女子駅伝が短距離ブロックのメンバーの協力を得て、久しぶりの出場となりました。完走を目標にレースに臨みましたが、最下位を逃れて男子と同じ10位でした。女子は、今年のメンバーが全員残ることと、ローカルの大会ではありますが1月に行われた加治木駅伝で優勝（全区間賞）したことなどを踏まえ、来年の大会は更なる躍進が期待できると思います。

現在、5月の九州インカレを最大の目標に練習を行っていますが、練習の質・量ともに物足りなさを感じる場所があります。一人でも多くの選手が自分の殻を打ち破る気持ちで、もっと食欲に練習に取り組んでもらいたいと思います。

最後になりましたが、OBG会員の皆様方には常日頃より多くのご支援やご指導を頂き、誠にありがとうございます。改めて感謝と御礼を申し上げます。来年度も変わらぬご支援やご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

来シーズンへ向けて

主将 上木 進伍

主将を務めさせていただいております上木進伍と申します。初めに日頃の OBG の皆様のご支援、ご声援に感謝申し上げます。鹿児島大学陸上競技部が日々充実した活動ができていることは OBG の皆様をはじめ、監督、コーチ、トレーナーなど多くの皆様のご支援やご指導の賜物であると感じております。重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年5月に先輩方から幹部を引き継ぎ現在の体制で活動をしています。今年度は3年生の部員が少なく2年生も幹部を引き継ぎました。昨年度以上に幹部同士の連携を密にし、協力しながら運営をすることを意識してスタートしました。今年度も多くの新入部員が入部しさらに活動が活発化しました。今年度は女子の長距離部員も入部したことで短距離、マネージャーの選手の力も借りてですが、島原駅伝に女子チームの出場もできました。これをきっかけに今後さらに男女ともに入部者が増えることも期待したいと思います。またそのためには我々部員が入部したくなるようなチームを作っていく必要があると思います。今年度は全国の大会で出場する選手や国際大会に出場した選手もあり、陸上部の活動に勢いをつけてくれたと感じています。また、部員1人1人が日々努力を積み重ね試合で自己ベストを更新していくことでチームとして良い雰囲気を作りあげることができたと思います。しかし、春インカレや島原駅伝で目標を達成できなかったのはまだまだ他の大学に及ばない点が多々あったのだと思います。チーム内で切磋琢磨することはもちろん選手同士称えあうことも時には必要であると思います。しかし忘れてはいけないことは他の大学の選手の存在です。私たちが練習をしている時にはほかの大学も練習をしています。私たちが練習をしていない時にもほかの大学は練習をしているかもしれません。常に自分のことだけでなく周りの選手、ほかの大学の選手などのことを念頭に置いて行動することができれば春インカレでも結果を残すことができると考えています。春インカレまで残り数か月です。先輩方が築き上げられた伝統と誇りを胸にこれからも大会や練習に精進していきたいと思っています。そして、胸を張って陸上競技をしてきてよかったといえるような陸上競技部にして後輩たちにも引き継ぎ、伝えていけるようにしたいです。

最後になりましたが、鹿児島大学陸上競技部はこれからも全力で目標に向かって日々精進して参りたいと思います。今後とも鹿児島大学陸上競技部へのご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

今年度を振り返って

主務 森下 穂風

五月の幹部交代により、主務を務めさせていただいております森下穂風です。今年度も OBG の皆様からのご支援や、監督・コーチのご指導により私たち鹿児島大学陸上競技部の活動が充実したものになりましたことにお礼申し上げます。

今までと異なり、二年生で主務をさせていただくことになり、大変不安なスタートとなりましたが、周りの方々のサポートのおかげでなんとか前シーズンを終えることができました。幹部交代で先輩方から仕事を受け継ぎ、主務として学連登録や大会出場などをするようになり、今までよりさらに密に部活に関わるようになって、今までの部活の運営に、いかにたくさんの方が携われ、いかにたくさんの方の労力をかけてこられたのかということを感じることができました。また、大会登録をするにあたってはそれぞれの選手の記録の伸びを、より感じることで、大会ではどの選手も精一杯に頑張る姿を見て、毎回感動をもらいました。主務という仕事を通して、陸上競技部に少しでも貢献できたことを大変うれしく思います。

来年シーズンではさらなる記録向上を目指して、部員一同頑張っていく所存ですので今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。また、私自身まだまだ未熟で至らぬ点もたくさんあるとは思いますが、一生懸命頑張りますのでご指導・ご協力、よろしく願いいたします。

今年度を振り返って

副主務 佐藤拓実

今年度、副主務をやらせていただいている佐藤拓実です。今年は総部員数が 60 人を超えて、鹿児島大学でもかなり大きな部活になっています。去年からインカレが年 4 回となり、さらに陸上活動が活発になってきました。今年は部を引っ張っていく私たち 3 年生が 5 人という、非常に少ない人数で頑張らなければならない代でした。しかし、少ない分小回りの利く、柔軟な部活の運営ができたのではないかなと感じています。副主務は、大会の宿泊・移動手段の手配などの雑務や、部費の扱いを担当しています。大会関係のこと、新しい備品を購入することなどをいつも考えながら、なおかつ部をまとめなければならず、選手である私にとってなかなか競技に集中することが難しかったです。その分、副主務をしなければ経験できなかったこともたくさんあり、学ばせていただくことが大変多かったように感じます。

部をまとめることに関しては、今年は主将の上木が長距離であるため、短フィーをまとめることを主にやらせていただきました。3 年が 4 人に対して、1・2 年が 20 人以上であるためマンパワーに押し負けられそうなこともありましたが、しかし、先輩として指導するべきところは指導し、今まで部として動く際に理不尽だったところは少し変えていけたのではないかと感じています。

大会の手配では、今年は台風の影響でインカレが途中で中止となるアクシデントもあり、部活をまとめる大変さも感じました。また、大学では価値観の違いを大きく感じ、大会の宿泊や島原駅伝の応援の仕方などを少しずつ変えていかなければならない時が来たようにも感じました。

また、少ないお金を最大限に活用するなど、残りの部費と相談しながら効果的に活用できるよう最大限努力を重ねてきたつもりです。お金の面に関しては、OBG 会から 30 万円をいただき大切にに使わせていただいております。この場を借りて、鹿児島大学陸上部 OBG 会に会費を納めていただいた皆様に感謝申し上げます。学生にとってお金の工面が、部活を続けることのハードルとなっていることも事実です。私たちは大会で活躍することが、OBG の皆さんへの一番の恩返しの方法だと思っております。これからも、インカレ・駅伝などで一生懸命頑張っていきますので、変わらぬ御支援をよろしくお願い致します。

今年度を振り返り

短距離ブロック長 弓 尚樹

短距離ブロック長を務めさせて頂いております弓尚樹です。今年度、短距離ブロックは、短短・短長パート合わせて約 20 名で日々の競技・練習に邁進して参りました。三年生が非常に少ない代であり、この大団体をいかに回していくか、幹部その他総じて模索する毎日であります。残ったメンバーで少数精鋭と言いたいところですが、現 4 年生、2 年生の手助けあつてのことと感じます。やはりその点では、今年度短距離ブロックからリタイヤが出なかったこと、個人的に嬉しく思います。

競技成績の話を致しますと、私も含め、短距離ブロック全体的に怪我が多く、ベスト更新に苦しんでおり、スプリント力においても跳躍陣の勢いに押されつつあるのが現実であります。跳躍陣の活躍を目の当たりにし、同チームながら、何とも言いようのない悔しさ、素直に喜べない、というのが率直な私の思いであり、また、短距離ブロックの部員もそうであると願います。土俵から降りるのは簡単ですが、目指すは春インカレであり、ある意味、目に見えないライバルに今鍛錬で勝たないといけない私たちにとって、最も身近で可視的なライバルがいることを幸運に思い、短距離ブロック全体として湧き上がるこのエネルギーを再認識し、より鍛錬に励んでいきたいと思っております。

大学生ともなると各人がしっかりとした個性をもっており、同じ方向を向かせることの難しさを感じた一年でした。去年の私からすると、自分が他人のメニューや注意の仕方で眠れなくなるなど思ってもいませんでした。なぜ、部に厳しいルールが存在するのか。なぜ、あの時先輩方にあんなに怒られたのか。親の心子知らずのようなものなののでしょうか、今になって反省させられることが多々あります。立場が人を作るということを身をもって学びました。短距離ブロックのみんな、幹部、監督コーチ・OBG の皆様、陸協、ジュニア、トレーナーさん方、この立場が故に様々な人と関わらせていただき、社会的なこと、人間的なこと、多方面において学ばせていただいております。学ばせていただいた分、ご迷惑おかけしていることと存じます

が、どうかお許し願います。まさに、この文章もこの部活、この立場でなければ、大学生活でこの様な機会はなかったことでしょう。

残り数か月、できることは限られてきますが、ここまで身に付けてきたことを存分に発揮し、来シーズンの短距離ブロックを躍進すべく努力する所存です。

長くなってしまいましたが、これからシーズンに向け、より一層精進して参ります。これからも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

今年度の振り返り

長距離ブロック長 中山 謙

長距離ブロック長を務めさせていただいております中山謙です。はじめに鹿児島大学陸上競技部が日々活動できているのも OBG の皆様や監督、コーチ、トレーナーなどの方々のご支援・ご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

5月に幹部交代を行い、今年度の目標を「長距離ブロックで春インカレ 20 点・島原駅伝入賞」として日々練習に取り組んで参りました。しかし、春インカレでは目標に及ばず 10 点、島原駅伝でも 8 位に約 8 分差での昨年と同じ 10 位という結果でした。一方で、11 位以降のチームはすぐ後ろに迫っており、このままだと足元をすくわれると感じました。上位層の選手のレベル上げ、またメンバー争いをする選手の底上げとチーム全体として強くならなければならないと考えております。

さて、その島原駅伝では今年度長距離に女子部員も入部したこともあり、しばらく出場が途絶えていた女子チームの出場が叶いました。5 人は揃っておらず、短距離からメンバーを借りましたが、出場できたことに大きな意味があると思います。今後はさらに上を目指していきたい所存であります。

私は現在 2 年生であり、来年度も幹部を務めさせていただきたいと考えています。今年度長距離ブロック長を務めさせていただくことで、OBG の皆様を始め、監督やコーチ、トレーナーなどの多くの方々と関わらせていただきました。その中で、自分の未熟さを感じつつも成長できたと思っております。来年度もこの経験を活かし、鹿児島大学陸上競技部のさらなる発展に貢献できるように取り組んで参りたいと思います。最後になりましたが、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

今年度の振り返り

跳躍・混成ブロック長 黒永 裕汰

今年度は、新しいメンバーが二人増え、跳躍・混成ブロックとしてさらに飛躍できた年でありました。特に走幅跳においては5人が7m台の記録をマークし、三段跳においては田坂が個人選手権で6位、また全日本インカレへの出場権を手にする等、これまでにない好成績を修めました。また、走力面においても四継メンバー候補に3人、マイルのメンバー候補に2人選ばれる等、ほかのブロックを脅かすくらいに成長しました。しかし、練習においてはケガをすめる者がかなり多く、ブロック長であり私のメニューの組み立て方であったり、ケアの徹底であったりなどが不十分であったと感じています。

来年度はリレーメンバーに選ばれる者も増え、出場する種目が多くなりそれなりに体力が必要となってくるので、考えて練習を構成していかなければならないと感じました。そのため、昨年度の反省も生かして練習内容やケア方法を改善し、すべてのメンバーの持てる力を十分に発揮し、後悔のない年にしていけるように尽力したいと思います。

平成 29 年度

鹿児島大学陸上競技部OBG会

決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥313,377	
OBG 会会費	¥447,000	28 年度納入分
雑入	¥40,287	利子（預金口座）・返金・総会残金等
計	¥800,664	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	
事務通信費	¥90,000	切手代・封筒代・印刷費・郵送料・会合等
慶弔費	¥33,048	
雑費	¥0	
計	¥423,048	

収入合計 ¥800,664

支出合計 ¥423,048

差引合計 ¥377,616

※ 平成 30 年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部OBG会

会 計 永野 亮太

第71回 大分県陸上競技選手権大会

平成 29 年 4 月 29 日(土)30 日(日)

大分・大分市営陸上競技場

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400mH	財前将大 (3)	1'01"52	1'03"42	7 位	
三段跳	佐藤拓実 (3)		NM		

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400m	本田奈樹 (4)	1'01"25	1'01"55	5 位	

第70回 福岡県陸上競技選手権大会

平成 29 年 4 月 29 日(土)30 日(日)

福岡・博多の森陸上競技場

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
110mH	中村弘樹 (4)	16"38(-2.2)			
走高跳	安倍嵩士 (1)		1m95	8 位	鹿大歴代 5 位

2017 年度 第 87 回九州学生陸上競技対校選手権大会

平成 29 年 5 月 12 日(金)13 日(土)14 日(日)

長崎・トランスコスモススタジアム

男子(総合6位:32 点、トラック9位:19 点、フィールド4位:12 点)

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	上村凌 (4)	11"47(-0.7)	11"41(-1.4)			
	木場彬仁 (4)	11"36(+1.0)				自己ベスト
	河野優樹 (2)	11"63(+1.1)				
200m	上村凌 (4)	23"17(-1.4)				
	中村弘樹 (4)	DNS				
	弓尚樹 (3)	23"67(+0.5)				
400m	甲斐達気 (3)	49"98	49"11	48"92	5 位	
	弓尚樹 (3)	54"13				
	勇島海斗 (2)	51"00	51"35			
800m	松岡颯仁 (3)	2'00"00	2'02"08			
	大津屋省吾 (2)	1'59"17	1'55"11	1'55"47	5 位	鹿大歴代 9 位
	日高黎士 (2)	2'03"55				
1500m	高田蒼太 (4)	4'00"38		4'12"30		
	上木進伍 (3)	4'09"91				
	中山謙 (2)	4'03"97				

5000m	臺隆太郎 (2)			16'26"26		
	蔵満周平 (2)			16'50"47		
	笹江晴貴 (1)			15'55"69		
10000m	臺隆太郎 (2)			34'56"18		
	蔵満周平 (2)			36'30"70		
	宮川和之 (2)			DNS		
110mH	中村弘樹 (4)	20"60(-1.0)				
400mH	財前将大 (3)	1'00"44				
	小牧慧士 (1)	59"09				
3000mSC	水溜将貴 (4)	9'49"52				
10000mW	高橋宏敬 (M1)			48'28"75	4位	
	有山雅人 (4)			DNF		
	後藤大輝 (2)			DNF		

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	田中 幹三郎(2)	41"90	41"93	6位	
	上村 凌 (4)				
	甲斐達気 (3)				
	中村弘樹 (4)				
4×400mR	勇島海斗 (2)	3'20"64			
	大津屋 省吾(2)				
	松岡 顕仁 (3)				
	甲斐達気 (3)				
4×400mR	甲斐達気 (3)		3'19"55	6位	チームベスト
	大津屋 省吾(2)				
	松岡 顕仁 (3)				
	勇島海斗 (2)				
走幅跳	黒永祐汰 (3)		6m52(-0.9)		
	田坂裕輝 (2)		7m24+0.3)	5位	
	田中 幹三郎(2)		6m74(+0.3)		
三段跳	染矢健平 (3)		NM		
	佐藤拓実 (3)		13m59(+1.4)		
	田坂裕輝 (2)		15m48(+1.3)	3位	自己ベスト 鹿大歴代1位
走高跳	柴田康平 (2)		1m80		
	安倍嵩士 (1)		2m00		鹿大歴代5位
棒高跳	戸高弘英 (3)		NM		
	河野泰志 (4)		56m81		自己ベスト

やり投	恵島卓海 (2)		58m76	8位	
-----	----------	--	-------	----	--

種目	氏名	種目	記録	点数	合計	順位	備考
十種競技	中崎真之介 (4)	100m	11"25(-0.6)	806	4888	8位	110mH 鹿大歴代 10位
		走幅跳	6m41(-1.1)	677			
		砲丸投	10m58	521			
		走高跳	1m65	504			
		400m	51"73	737			
		110mH	16"17(+0.0)	714			
		円盤投	NM	0			
		棒高跳	NM	0			
		やり投	43m01	486			
		1500m	5'21"35	443			

種目	氏名	種目	記録	点数	合計	順位	備考
十種競技	肝付宇紀 (2)	DNS					

女子(総合6位:16点、トラック6位:15点、フィールド8位:1点)

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	上田真子 (2)	13"54(+0.2)				
400m	本田奈樹 (4)	1'02"36				
	滝川愛月 (2)	1'04"42				
800m	福井美愉 (3)	DNS				
1500m	西佳苗 (2)	5'02"10				
100mH	吉元佑美香 (4)	15"00		14"88	7位	自己ベスト 鹿大歴代3位
	山口優萌 (1)	15"62				鹿大歴代4位
3000mSC	西佳苗 (2)			11'54"62	4位	自己ベスト 鹿大歴代1位
10000mW	北野夏鈴 (1)	DQ*W2				

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	上田真子 (2)		49"94	5位	チームベスト
	吉元佑美香 (4)				
	滝川愛月 (2)				
	本田奈樹 (4)				
4×400mR	本田奈樹 (4)		4'12"23	5位	
	吉元佑美香 (4)				

	滝川 愛月 (2)				
	上田 真子 (2)				
やり投	宮下 瞳 (4)		36m68		自己ベスト
	山田 桃愛 (1)		43m33	8位	自己ベスト 鹿大歴代1位

2017 日本学生陸上競技個人選手権大会

平成 29 年 6 月 9 日(金)

神奈川・Shonan BMW スタジアム平塚

種目	氏名	決勝	順位	備考
三段跳	田坂 裕輝(2)	15m66(+1.4)	6位	鹿大歴代1位 自己ベスト

第 70 回西日本学生陸上競技対校選手権大会

平成 29 年 6 月 30 日(金)7 月 1 日(土)2 日(日)

広島広域公園陸上競技場(エディオンスタジアム広島)広島

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
1500m	中山 謙 (2)	4'00"37			
10000mW	高橋 宏敬 (M1)		44'57"30	6位	
走幅跳	肝付 宇紀 (2)	7m31(+2.3)			
やり投	山田 桃愛 (1)		38m15		

第 72 回 鹿児島県陸上競技選手権大会

平成 29 年 6 月 30 日(金)7 月 1 日(土)2 日(日)

鹿児島・鴨池陸上競技場

男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	甲斐 達気 (3)	DNS			
	永田 拓海 (1)	11"33(-2.6)	11"32(-2.4)	6位	
200m	甲斐 達気 (3)	22"61(-1.9)	22"38(+1.0)	5位	
	永田 拓海 (1)	22"63(-2.0)	22"61(+1.0)	7位	
400m	勇島 海斗 (2)	51"10	51"52	6位	
800m	大津屋 省吾(2)	1'58"06	1'54"55	1位	自己ベスト 鹿大歴代6位
1500m	上木 進伍 (3)	4'09"81			
	中山 謙 (2)	4'03"37	3'58"99	1位	自己ベスト
	山本 航大 (1)	4'21"90			

400mH	小牧 慧士 (1)	57"27	57"42	7位	
3000mSC	水溜 将貴 (4)	9'38"81		2位	

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	木場 彬仁 (4)	42"74	42"76	5位	
	永田 拓海 (1)				
	甲斐 達気 (3)				
	弓 尚樹 (3)				
4×400mR	弓 尚樹 (3)	3'22"94			
	大津屋 省吾 (2)				
	日高 黎士 (2)				
	勇島 海斗 (2)				

4×400mR	弓 尚樹 (3)		3'21"83	2位	
	勇島 海斗 (2)				
	永田 拓海 (1)				
	大津屋 省吾 (2)				
走幅跳	黒永 祐汰 (3)		6m77(-0.3)		
	馬見塚 大樹 (1)		7m04(+2.5)	5位	
三段跳	染矢 健平 (3)		NM		
	秋葉 裕己 (4)		DNS		
	黒永 祐汰 (3)		DNS		
走高跳	柴田 康平 (2)		1m75		
棒高跳	戸高 弘英 (3)		NM		

種目	氏名	種目	記録	点数	合計	順位	備考
十種競技	中崎 真之介 (4)	100m	11"46(-1.6)	761	5830	3位	自己ベスト 鹿大歴代2位
		走幅跳	6m52(+1.1)	702			
		砲丸投	10m37	508			
		走高跳	1m73	569			
		400m	54"78	608			
		110mH	16"52(-1.7)	675			
		円盤投	33m08	525			
		棒高跳	3m00	357			
		やり投	51m19	606			
		1500m	5'07"13	519			

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	吉元 佑美香(4)	DNS			
100mH	吉元 佑美香(4)	15"68(-0.7)	15"60(-1.9)	6位	
	上田 真子(2)	16"90(-0.6)			
	山口 優萌(1)	15"74(-0.7)	16"03(-1.9)	8位	
3000mSC	西 佳苗(2)		12'00"85	1位	
5000mW	北野 夏鈴(1)		32'28"00	3位	

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	山口 優萌(1)	DQ			
	上田 真子(2)				
	滝川 愛月(2)				
	吉元 佑美香(4)				
4×400mR	本田 奈樹(4)	4'19"66			
	吉元 佑美香(4)				
	滝川 愛月(2)				
	上田 真子(2)				

第4回日中韓 3カ国交流陸上競技大会

平成 29 年 7 月 2 日(日)

寧波・中国

種目	氏名	決勝	順位	備考
三段跳	田坂 裕輝(2)	15m80(+1.4)	4位	自己ベスト 鹿大歴代 1 位

第71回宮崎県陸上競技選手権大会

平成 29 年 7 月 8 日(土)9 日(日)

宮崎県総合運動公園 第1陸上競技場・宮崎

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400mH	牧野 圭佑(1)	1'00"91			
走幅跳	肝付 宇紀(2)		7m23(+0.0)	3位	
	田中 幹三郎(2)		6m87(+0.2)	6位	
4×400mR	牧野 圭佑(1)	3'36"14			
	上村 洸樹(M1)				
	田中 幹三郎(2)				
	山田 勇弥(1)				

第67回 九州地区大学体育大会

平成 29 年 7 月 22 日(土)23 日(日)

本城陸上競技場・福岡

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	河野 優樹 (2)	DNS				
	永田 拓海 (1)	11"28(-0.7)	11"08(-0.4)			
200m	河野 優樹 (2)	23"58(1.3)				
	永田 拓海 (1)	22"14(---)		22"07(+2.6)	4 位	
400m	勇島 海斗 (2)	50"85		51"44	6 位	
	日高 黎士 (2)	52"10				
800m	大津屋 省吾(2)	DNS				
	中山 謙 (2)	1'58"71		1'58"25	1 位	
1500m	笹江 晴貴 (1)			4'20"79		
	山本 航大 (1)			4'17"24		
10000m	上木 進伍 (2)	35'50"05			8 位	
400mH	小牧 慧士 (1)					
	牧野 圭佑 (1)	1'01"34				
3000mSC	蔵満 周平 (2)			11'11"64		再レース

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	馬見塚 大樹(1)	43"13			
	永田 拓海 (1)				
	河野 優樹 (2)				
	佐藤 拓実 (3)				
4×400mR	勇島 海斗 (2)		3'23"59		
	永田 拓海 (1)				
	日高 黎士 (2)				
	小牧 慧士 (1)				
走幅跳	田中 幹三郎(2)		6m97(+3.2)	6 位	
	馬見塚 大樹(1)		7m22(+2.1)	3 位	
三段跳	佐藤 拓実 (3)		13m87(-2.2)	6 位	
走高跳	安部 嵩士 (1)		1m98	4 位	
棒高跳	戸高 弘英 (3)		NM		

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	上田 真子 (2)	12"84(+1.8)	12"81(+0.7)	5 位	自己ベスト
	滝川 愛月 (2)	12"99(+1.1)			自己ベスト
200m	滝川 愛月 (2)	26"76(+0.5)	26"60(1.5)	6 位	自己ベスト
	福井 美愉 (3)	DNS			

800m	城戸未宇(1)	2'40"26			
1500m	西佳苗(2)		5'05"83		
	宮田奈々(1)		5'29"55		
100mH	上田真子(2)	DNS			
	山口優萌(1)	15"63(-1.1)	15"11(+1.9)	6位	自己ベスト

第72回九州選手権大会 兼 第102回日本陸上競技選手権大会予選

平成29年8月18日(金)19日(土)20日(日)

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	永田拓海(1)	11"23(-1.5)			
400m	勇島海斗(2)	52"16			
800m	大津屋省吾(2)	1'56"35	2'02"46	6位	
1500m	中山謙(2)		4'07"71		
3000mSC	水溜将貴(4)		9'44"73		
5000mW	高橋宏敬(M1)		23'12"93	2位	

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR		DNS			
4×400mR	勇島海斗(2)	3'23"58			
	永田拓海(1)				
	小牧慧士(1)				
	大津屋省吾(2)				
走幅跳	肝付宇紀(2)		7m27(+1.4)	7位	自己ベスト 鹿大歴代2位タイ
	田中幹三郎(2)		6m77(-0.4)		
三段跳	田坂裕輝(2)		15m29(-0.1)	5位	

種目	氏名	種目	記録	合計	順位	備考
十種競技	中崎真之介(4)	100m	11"40(+1.2)	5789	4位	
		走幅跳	6m14(+0.5)			
		砲丸投	10m81			
		走高跳	1m75			
		400m	53"59			
		110mH	16"38(+0.2)			
		円盤投	35m42			
		棒高跳	2m60			
		やり投	50m05			
		1500m	5'09"55			

第 45 回 九州学生陸上競技選手権大会
平成 29 年 9 月 15 日(金)16 日(金)17 日(土)
男子

種目	氏名	予選	タイムレース決勝	順位	備考
100m	佐藤 拓実(3)		11"54(+1.0)		
	弓 尚樹(3)		11"83(+0.5)		
	田中 幹三郎(2)		11"47(+0.7)		
	永田 拓海(1)		11"45(+0.7)		
	馬見塚 大樹(1)		11"31(+1.2)		
	西村 将吾(1)		11"93(+0.7)		
200m	弓 尚樹(3)		23"82(+1.5)		
	西村 将吾(1)		24"17(+2.3)		
400m	松岡 顕仁(3)	52"64			
	勇島 海斗(2)	52"40			
800m	日高 黎士(2)	2'04"72			
	大津屋 省吾(2)	1'58"27	1'56"59	2 位	

種目	氏名	タイムレース決勝	決勝	順位	備考
4×100mR A	柴田 康平(2)	45"26			
	西村 将吾(1)				
	佐藤 拓実(3)				
	弓 尚樹(3)				
B	黒永 祐汰(3)	43"29			
	馬見塚 大樹(1)				
	肝付 宇紀(2)				
	田中 幹三郎(2)				
4×400mR A	肝付 宇紀(2)	3'24"29		8 位	
	大津屋 省吾(2)				
	小牧 慧士(1)				
	勇島 海斗(2)				
B	弓 尚樹(3)	3'31"56			
	日高 黎士(2)				
	松岡 顕仁(3)				
	牧野 圭佑(1)				
C	中崎 真之介(4)	3'41"25			
	西村 将吾(1)				
	山田 勇弥(1)				
	財前 将大(3)				
走幅跳	染矢 健平(2)		6m08(+0.6)		
	黒永 祐汰(3)		NM		

	肝付 宇紀(2)		6m97(+2.8)		
	柴田 康平(2)		5m99(+0.4)		
	田坂 裕輝(2)		7m13(+1.6)	5位	
	田中 幹三郎(2)		6m59(+1.6)		
	馬見塚 大樹(1)		6m71(+2.0)		
三段跳	秋葉 裕己(4)		12m80(+1.6)		
	染矢 健平(2)		12m28(+1.1)		
	佐藤 拓実(3)		13m21(+3.4)		
	肝付 宇紀(2)		14m37(+3.2)		
	田坂 裕輝(2)		14m75(+3.8)	8位	
走高跳	柴田 康平(2)		1m75		
やり投	河野 泰志(4)		53m59		

女子

種目	氏名	予選	タイムレース決勝	順位	備考
100m	吉元 佑美香(4)		13"53(+1.7)		
	上田 真子(2)		13"06(+0.9)		
	滝川 愛月(2)		13"55(+2.1)		
200m	滝川 愛月(2)		27"65(+0.8)		
100mH	山口 優萌(1)		16"07(+1.2)		

種目	氏名	タイムレース決勝	決勝	順位	備考
4×100mR	上田 真子(2)	50"41			
	吉元 佑美香(4)				
	滝川 愛月(2)				
	山口 優萌(1)				

第2回九州学生陸上競技新人選手権大会
平成29年10月14日(土)15日(日)
平和台陸上競技場・福岡

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	佐藤 拓実(3)	11"71(-0.9)			
	田中 幹三郎(2)	11"26(-0.4)			
	永田 拓海(1)	11"27(-0.1)			
	西村 将吾(1)	12"18(-1.2)			
	吉岡 朋樹(1)	11"93(-0.1)			
	内村 仁(1)	11"64(+0.0)			
200m	勇島 海斗(2)	23"49(-2.1)			
	永田 拓海(1)	23"14(-1.4)			
	西村 将吾(1)	24"35(-1.4)			
	吉岡 朋樹(1)	24"35(-1.2)			

400m	弓 尚 樹 (3)	53"44			
	勇 島 海 斗 (2)	51"12			
	山 田 勇 弥 (1)	55"30			
800m	大津屋 省吾 (2)	1'57"42	1'55"97	1 位	
	日 高 黎 士 (2)	2'01"28			
	牧 野 圭 佑 (1)	2'08"36			
1500m	大津屋 省吾 (2)	4'04"13	4'01"10	1 位	自己ベスト 大会新記録
	中 山 謙 (2)	4'03"06	4'05"89		
400mH	小 牧 慧 士 (1)	58"79			

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×100mR	黒 永 祐 汰 (3)	42"07			
	馬見塚 大樹(1)				
	田中 幹三郎(2)				
	永 田 拓 海 (1)				
4×400mR A	勇 島 海 斗 (2)	3'24"44			
	大津屋 省吾(2)				
	弓 尚 樹 (3)				
	小 牧 慧 士 (1)				
B	永 田 拓 海 (1)	3'29"70			
	日 高 黎 士 (2)				
	牧 野 圭 佑 (1)				
	山田 勇弥(1)				
走幅跳	染 矢 健 平 (2)		6m14(+0.2)		
	黒 永 祐 汰 (3)		NM		
	田 坂 裕 輝 (2)		7m24(+1.1)	3 位	
	肝 付 宇 紀 (2)		7m35(+0.1)	2 位	自己ベスト
	馬見塚 大樹(1)		7m03(+1.3)		
三段跳	染 矢 健 平 (2)		12m68(-0.1)		
	黒 永 祐 汰 (3)		14m11(-0.5)		
	佐 藤 拓 実 (3)		13m21(+0.6)		
	田 坂 裕 輝 (2)		14m25(+0.2)	8 位	
	肝 付 宇 紀 (2)		14m58(+1.1)	5 位	
走高跳	柴 田 康 平 (2)		NM		
棒高跳	戸 高 弘 英 (3)		NM		
	山 田 勇 弥 (1)		NM		

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	上田真子 (2)	13"02(-1.0)	13"12(-1.0)		
200m	滝川愛月 (2)	27"77(+2.0)			
800m	城戸未宇 (1)		2'31"41	6位	
1500m	宮田奈々 (1)		5'27"88	7位	
5000m	西佳苗 (2)		18'38"12	2位	
100mH	山口優萌 (1)	16"00(-1.3)	15"62(-0.2)	6位	

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4 × 400mR	上田真子 (2)		4'16"24	5位	
	滝川愛月 (2)				
	山口優萌 (1)				
	城戸未宇 (1)				

第35回九州学生駅伝対校選手権大会

平成 29 年 12 月 2 日(土)

長崎・島原市営陸上競技場

順位	大学名	記録
1位	日本文理大学	3 時間 3 分 54 秒
2位	第一工業大学	3 時間 6 分 15 秒
3位	志學館大学	3 時間 7 分 37 秒
4位	九州大学	3 時間 7 分 50 秒
5位	福岡大学	3 時間 7 分 56 秒
6位	熊本大学	3 時間 10 分 11 秒
7位	久留米大学	3 時間 10 分 39 秒
8位	九州国際大学	3 時間 11 分 50 秒
9位	沖縄国際大学	3 時間 16 分 17 秒
10位	鹿児島大学	3 時間 19 分 41 秒

1区(7.73km)	中山 謙	区間	0:26:07 (12 位)
2区(8.39km)	大津屋 省吾	区間	0:27:16 (15 位)
		累計	0:53:23 (12 位)
3区(8.27km)	笹江 晴貴	区間	0:27:12 (12 位)
		累計	1:20:35 (13 位)
4区(9.38km)	水溜 将貴	区間	0:38:12 (9 位)
		累計	1:58:47 (11 位)
5区(9.08km)	上木 進伍	区間	0:32:30 (13 位)
		累計	2:31:17 (10 位)
6区(7.24km)	山本 航大	区間	0:22:31 (12 位)
		累計	2:53:48 (10 位)
7区(7.71km)	宮川 和之	区間	0:25:53 (11 位)
		累計	3:19:41 (10 位)

第17回九州学生女子駅伝対校選手権大会

平成 29 年 12 月 2 日(土)

長崎・島原市営陸上競技場

順位	大学名	記録
1位	福岡大学	1 時間 17 分 40 秒
2位	活水女子大学	1 時間 22 分 27 秒
3位	名桜大学	1 時間 28 分 13 秒
4位	久留米大学	1 時間 28 分 51 秒
5位	沖縄国際大学	1 時間 32 分 57 秒
6位	琉球大学	1 時間 34 分 29 秒
7位	鹿児島国際大学	1 時間 35 分 4 秒
8位	日本文理大学	1 時間 35 分 10 秒
9位	佐賀大学	1 時間 36 分 35 秒
10位	鹿児島大学	1 時間 37 分 27 秒
11位	九州大学	1 時間 39 分 16 秒

1区(4.26km)	宮田 奈々	区間	0:17:54 (10 位)
2区(3.47km)	城戸 未宇	区間	0:16:23 (9 位)
		累計	0:34:17 (11 位)
3区(3.83km)	宮崎 陽菜乃	区間	0:16:41 (11 位)
		累計	0:50:58 (11 位)
4区(7.81km)	西 佳苗	区間	0:29:15 (7 位)
		累計	1:20:13 (10 位)
5区(3.48km)	滝川 愛月	区間	0:17:14 (8 位)
		累計	1:37:27 (10 位)

平成 29 年度 鹿兒島大学陸上競技部 部員名簿

短距離(Short Sprint)

学年	氏名	出身校	所属	専門
M1	上村 洸樹	都城泉ヶ丘(宮崎)	工/情報生体	100m/11"03 200m/22"57
4	上村 凌	武岡台(鹿兒島)	農/生物資源	100m/10"78 200m/21"80
4	木場 彬仁	加治木(鹿兒島)	農/生物環境	100m/11"36
4	中村 弘樹	輝翔館(福岡)	工/海洋土木	110mH/15"74 400mH/58"68
4	吉元 佑美香	鹿兒島女子(鹿兒島)	法文/経済情報	100mH/14"88
3	佐藤 拓実	大分舞鶴(大分)	工/機械工	100m/11"01 三段跳/14m65
2	上田 真子	慶進(山口)	教育/保体	100m/12"81 100mH/15"91
2	河野 優樹	鶴翔(鹿兒島)	工/海洋土木	100m/11"53
2	森下 穂風	第二(熊本)	教育/健康教育	マネージャー
1	内村 仁	鹿兒島高専(鹿兒島)	教育/初等	100m/11"20 200m/23"36
1	近藤 雄介	武岡台(鹿兒島)	法文/法経社会	100m/11"60
1	永田 拓海	鹿兒島中央(鹿兒島)	教育/保体	100m/10"94 200m/22"10
1	西村 将吾	新宮(福岡)	工/情報生体	100m 200m
1	山口 優萌	加治木(鹿兒島)	教育/保体	100mH/15"11
1	吉岡 朋樹	鹿兒島(鹿兒島)	工/情報生体	100m/11"56 200m/23"16

短距離(Long Sprint)

学年	氏名	出身校	所属	専門
3	甲斐 達気	大分舞鶴(大分)	工/機械工	400m/48"81
3	財前 将大	宇佐(大分)	工/建築	400mH/61"06

4	本田 奈樹	大分舞鶴(大分)	教育/保体	400m/59"86
3	松岡 顕仁	東稜(熊本)	工/化学生命	800m/1'55"83
3	弓 尚樹	佐賀西(佐賀)	工/建築	400m/49"94 200m/22"72
2	大津屋 省吾	城南(福岡)	工/海洋土木	800m/1'54"55
2	滝川 愛月	宇土(熊本)	工/情報生体	200m/26"60 400m
2	日高 黎士	第二(熊本)	工/情報生体	800m/1'57"86
2	勇島 海斗	鹿児島中央(鹿児島)	教育/保体	200m/22"91 400m/49"91
1	城戸 未宇	筑紫女学院(福岡)	理/物理科	800m/2'27
1	小牧 慧士	加治木(鹿児島)	教育/保体	400mH/55"86

長距離

学年	氏名	出身校	所属	専門
M1	高橋 宏敬	日向(宮崎)	農/生物資源	5000m/15'50"60 10000mW/43'59"49
4	有山 雅人	佐世保北(長崎)	工/建築	3000mSC/9'58"83 5000m/16'14"10
4	高田 蒼太	種子島中央(鹿児島)	教育/国語	5000m/15'00"09 1500m/3'57"89
4	水溜 将貴	鹿児島南(鹿児島)	法文/経済情報	5000m/15'06"73 3000mSC/9'28"41
3	上木 進伍	鹿屋(鹿児島)	理/生命化学	5000m/15'50"33 1500m/4'09"53
2	蔵満 周平	加治木(鹿児島)	理/数理情報	1500m/4'27"70 5000m/16'19"89
2	後藤 大輝	佐伯鶴城(大分)	法文/経済情報	1500m/4'32
2	中山 謙	九州国際 大学付属(福岡)	教育/保体	1500m/3'58"99 5000m/15'13"79
2	西 佳苗	樟南(鹿児島)	法文/人文	3000mSC/11'54"62 3000m/9'48

2	宮川 和之	第二(熊本)	工/情報生体	5000m/16'14"85
1	笹江 晴貴	鹿児島(鹿児島)	工/機械工	1500m/4'11 5000m/15'28"05
1	宮崎 陽菜乃	鎮西学院(長崎)	理/地球環境	マネージャー
1	宮田 奈々	八代(熊本)	理/地球環境	1500m/5'19"04 800m/2'35

フィールド

学年	氏名	出身校	所属	専門
4	秋葉 裕己	明善(福岡)	法文/人文	三段跳/14m32 走幅跳/6m51
4	河野 泰志	山口中央(山口)	教育/保体	やり投/56m81
2	染矢 健平	武岡台(鹿児島)	工/機械工	三段跳/13m20
4	中崎 真之介	加治木(鹿児島)	教育/保体	十種競技/5830点
4	宮下 瞳	洲本(兵庫)	教育/美術	やり投/36m68
3	黒永 祐汰	鹿児島玉龍(鹿児島)	水産/水産食品	走幅跳/7m10 三段跳/14m36
3	戸高 弘英	鹿児島中央(鹿児島)	法文/経済情報	棒高跳
2	恵島 卓海	鹿児島玉龍(鹿児島)	医/医	やり投/65m53
2	肝付 宇紀	小林(宮崎)	教育/保体	走幅跳/7m35 三段跳/14m61
2	柴田 康平	佐賀北(佐賀)	教育/保体	走高跳/1m85
2	田坂 裕輝	鶴丸(鹿児島)	教育/保体	走幅跳/7m36 三段跳/15m80
2	田中 幹三郎	日向(宮崎)	医/保健	走幅跳/7m37
1	安倍 嵩士	大濠(福岡)	工/機械工	走高跳/2m03
1	馬見塚 大樹	出水(鹿児島)	工/海洋土木	走幅跳/7m13
1	山田 桃愛	八女(福岡)	教育/保体	やり投/43m33
1	山田 勇弥	都城泉ヶ丘(宮崎)	教育/保体	十種競技

編集後記

今回も皆様のご協力により、平成 29 年度の部報を無事完成させることが出来ました。作成にあたり、お忙しい中にも、関わらず原稿を寄せていただいた監督・コーチ・OBG の方々や、編集作業にご協力いただいた皆様に紙面を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

大会結果のページにもありますように各大会におけるチーム、個人の結果は様々でしたが、新しいシーズンを迎えるにあたり日頃からご指導、ご声援をいただいております OBG の皆様に感謝し、またより良い報告ができるよう部員一同練習に励んでいきたいと思っております。

今回は紙面の都合もあり一部の大会結果しか記載できませんでしたが、選手たちはまだまだ多くの競技会に参加しております。比較的小さな大会でも鹿大歴代記録をはじめ好記録が生まれております。部報上では様々な制約があり載せられない大会情報、日々の活動をおさめた写真などは陸上部のホームページに記載してありますので、そちらも是非ご覧 ください。最後になりましたが、この度学校を出る卒業生や OBG 会の皆様、そして鹿児島大学陸上競技部の今後の活躍と発展を祈念して編集後記とさせていただきます。

編集者一同